

# SENDAI

- Capital of Social Innovation -

スタートアップ・エコシステム拠点都市・仙台の取り組みと成果について

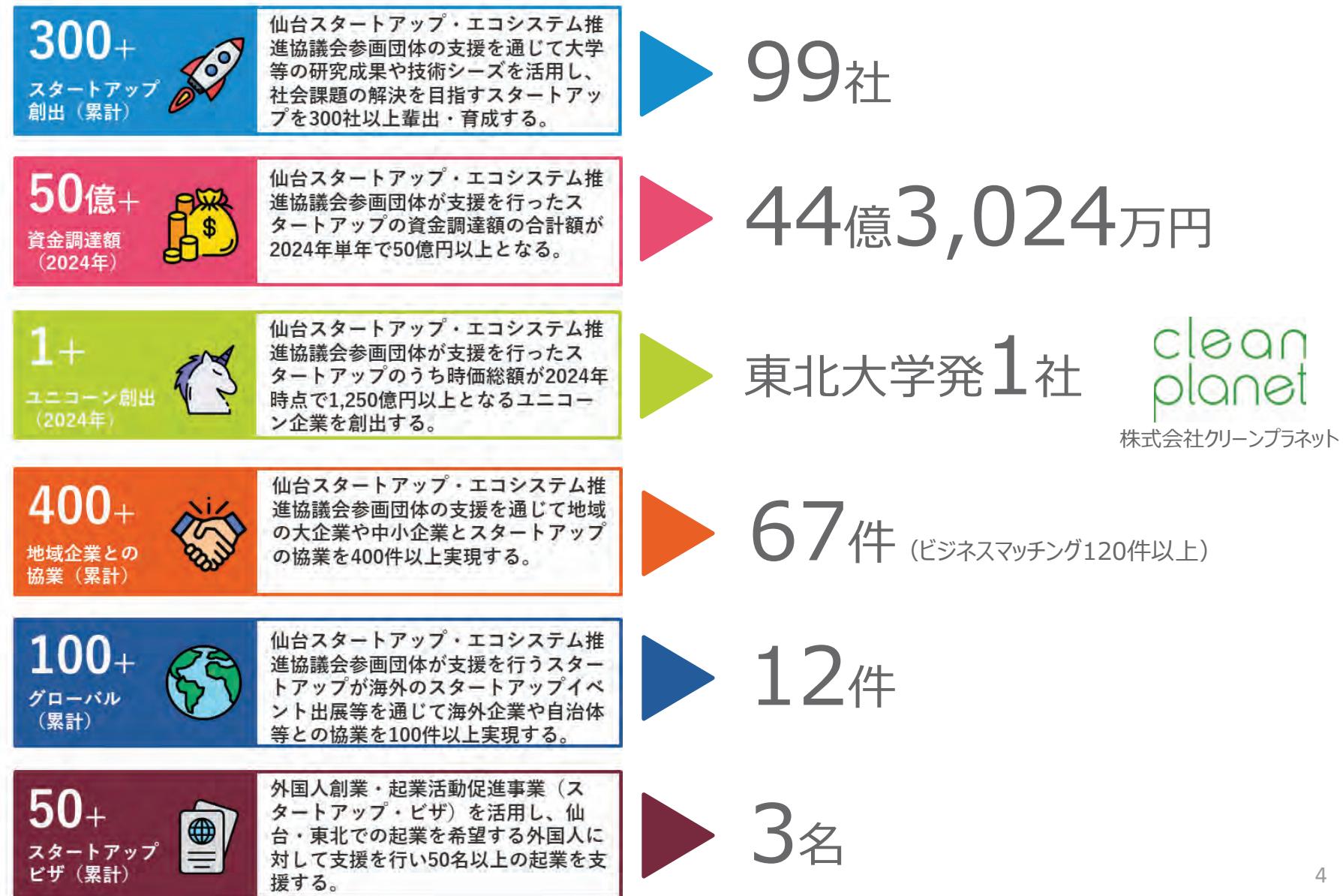


1. エコシステム形成推進主体について
2. 民間組織の取り組み (INTILAQ、MAKOTO、経済団体等)
3. 大学の取り組み (東北大学等)
4. 地方自治体の取り組み (仙台市等)
5. 都市の環境・繋がりの状況
6. ウィズコロナ、アフターコロナ
7. グローバルを考慮した拠点形成



エコシステム形成推進主体について

拠点形成計画に掲げるKPIの達成状況について（2021年7月時点）



**clean planet**  
株式会社クリーンプラネット

2019年12月 仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会設立



### Our Goal

仙台・東北から世界を変える「スタートアップ」が生まれ、  
世界中からソーシャルイノベーターが集う都市へ  
SENDAI - Capital of Social Innovation -

### Our Mission

新しい価値を持続的に産み出すスタートアップ・エコシステムを  
産官学金労言で構築し、社会課題解決に挑戦する人々と伴走して  
仙台・東北における地域課題の解決と地域経済の活性化を実現する。

### Target

仙台の強み・特徴を活かしつつ、  
社会的・経済的インパクトの創出に挑戦し続ける東北のスタートアップ

構成メンバー数

12▶45

発起人団体12団体に加え、  
新たに東北地域及び新潟県の民間企業や支援機関、  
ベンチャーキャピタル、自治体、国立大学等33団体が参画し、  
スタートアップ支援のネットワークがさらに拡大。

- ▶仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会において、「起業の街・仙台」を戦略的に推進していくための指針となる「仙台スタートアップ戦略（骨子版）」を策定。
- ▶協議会会員が有する「モノ」・「ヒト」・「カネ」・「情報」等の豊富な支援施策を見る化し、支援者間での課題共有や他都市のキーパーソンを招いた意見交換会等で課題を明確化。
- ▶会員相互の横連携の強化を進めていくことでスタートアップ企業に対する効果的な支援施策展開を促進。



## 【戦略の内容】※詳細次頁

- ・スタートアップ・エコシステム拠点都市・仙台の目指す姿
- ・スタートアップ・エコシステム拠点都市・仙台の戦略
- ・当協議会が支援する「スタートアップ」像
- ・スタートアップ・エコシステム拠点都市・仙台の支援内容全体像
- ・各団体の取り組みと役割
- ・横連携の可能性 など

団体名(部会名)	事業名	概要/開催時期	実施にあたって用いること・協力して取ること	ホームページURL
東北大	東北大ビジネスプランコンテストvol.5,開催	概要：東北大学生の企画を審査・表彰 開催時期：令和3年12月1日	-イベントの実施・広報 (7月下旬オープン予定)	
東北・青連	東北・青連連携会議	概要：イクリュの南門祭・松葉家がんチャーチランニングを開催すること 開催時期：未定	-名義共催りに、プログラムでのモチベ集客 -大企業との連携 -来年度以降の運営方法	<a href="https://tohoku-isobel.com/">https://tohoku-isobel.com/</a>
東北大	第12回東北大学生 第13回東北大学生 地域キヤノンファンドの賛助 企画運営委員会	概要：スタートアップ一挙見渡すイベント 開催時期：令和3年7月～令和4年3月開催予定	横連携の可能性リスト (横ぐし強化)	(9月中旬オープン予定) (11月中旬オープン予定)
仙台経済連合会	三井住友セミナー	概要：企業のPR活用による新たなビジネス機会開拓		
仙台経済連合会	東北創立40周年記念式典	概要：東北創立40周年記念式典の開催 開催時期：未定		
仙台経済連合会	東北青年会議所サマーJr.(年次研修会)	概要：年次研修会の開催 開催時期：令和3年度中		
仙台経済連合会	仙台経済連合会セミナー	概要：仙台経済連合会セミナーの開催 開催時期：令和3年度中		

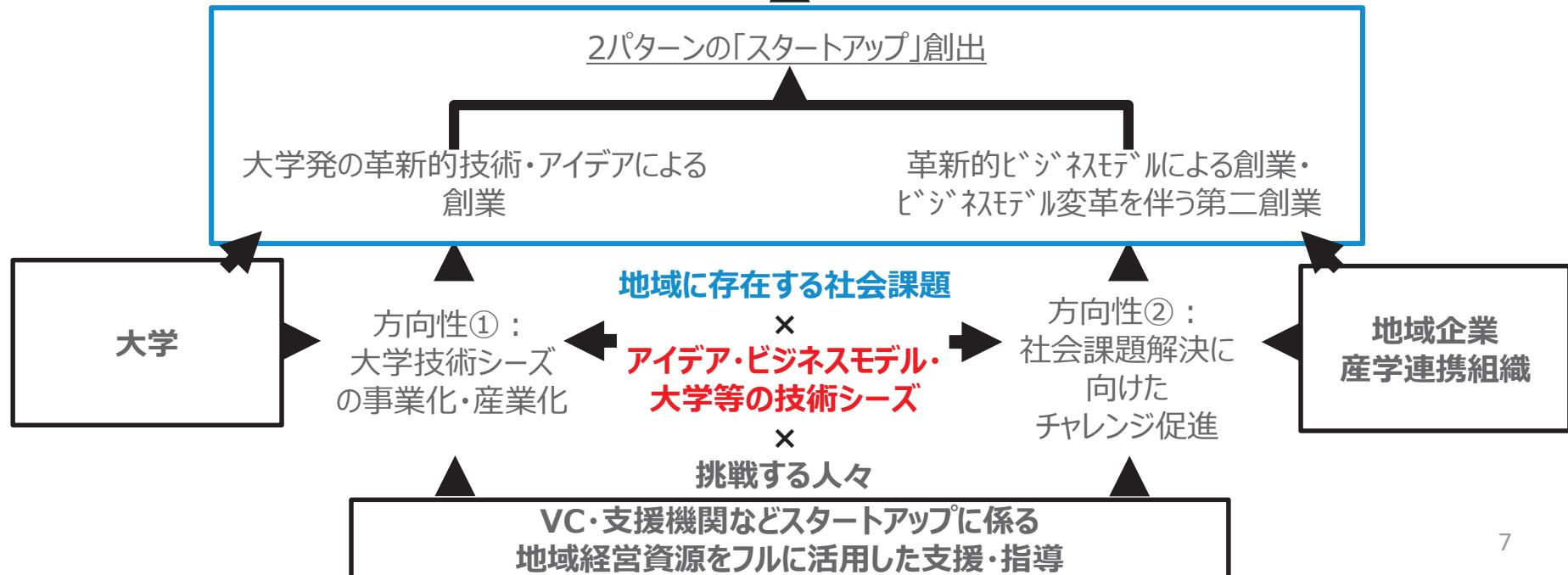
経済的持続性を基盤として社会課題解決を目指す組織の支援を  
 「大学テーマの事業化・産業化」「社会課題解決に向けたチャレンジ促進」を  
 大きな方向性として各プレイヤーが密に連携しながら取り組む  
 目指す姿（ゴール）

仙台・東北から世界を変えるスタートアップが生まれ、  
 世界中からソーシャルイノベーターが集う都市へ  
 Capital of Social Innovation

活動理念（ミッション）

新しい価値を持続的に産み出すスタートアップ・エコシステムを産官学金労言で構築し、  
 社会課題解決に挑戦する人々と伴走して  
 仙台・東北における地域課題の解決と地域経済の活性化を実現する。

## 当協議会が支援する「スタートアップ」像（詳細次頁）



仙台の強み・特徴（「仙台らしさ」）を活かしつつ、  
社会的・経済的インパクトの創出に挑戦し続ける法人・個人

## ゴール：「仙台らしさ」がある「スタートアップ」類型への成長

### パターン①

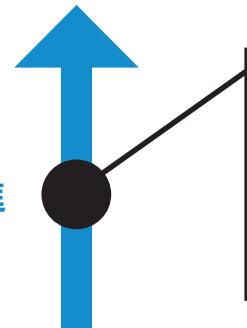
社会課題の解決を第一義に展開し、経済的持続性と社会インパクトを備えた「スタートアップ」  
(地域企業との事業資本提携・パートナーシップ連携を想定、Dari K・フローレンス等)

### パターン②

パターン①のうち特に急成長・急拡大を志向し、地域を超えた、より広い市場を目指す「スタートアップ」  
(株式IPO・M&Aを想定、Spiber・クリーンプラネット等)

SIA社会起業家  
・(株) 幸呼来Japan  
・(株) ゆらリズム

「仙台らしさ」がある  
スタートアップ・エコシステムの推進  
(詳細次頁)



### 継続して達成する目標： 社会的・経済的インパクトの両立

#### 社会的インパクト

- ・ 仙台・東北における地域課題の解決

#### 経済的インパクト

- ・ 仙台・東北における地域経済の活性化

東北大学発SU  
・パワースピン（株）  
・ボールウェーブ（株）  
・（株）RTi-cast

## スタート：「仙台らしさ」がある「スタートアップ」の形成

### 大学発

- ・ 世界に伍する社会ニーズがある技術を元に、産業形成

### 民間発

- ・ 地域課題の解決しうるテーマに取り組み、志ある地域企業と協業

### 産学連携

- ・ 民間のニーズ・人財をもとに、大学にある技術を地域内にて開花

### 創業

- ・ 独自のニーズやアイデアを元に、持続的な経済的リターンを前提とした事業を立ち上げる  
(法人格の選択は問わない)

### 第二創業

- ・ 事業継承元となる企業のアセットを用いつつ、新たに特異な技術やアイデアを組み合わせて経済的リターンを伴う事業内容へと変革させる

本推進協議会では会員の資源を結集することで、  
根底となる推進基盤に加えて「仙台らしさ」を元に重点的に施策を行うことにより、  
社会課題解決に挑戦する人々との伴走体制を確立する

3階層部分

「仙台らしさ」  
を踏まえた  
「スタートアップ」  
重点施策

- 優良なニーズ・シーズを開花させる产学連携方法の実装、産業を形成しうる技術の実装・产业化
- ソーシャルスタートアップ認定制度（社会的インパクト×経済的インパクト）
- 第二創業に特化したイベントの実施・支援体制の整備
- 東京等のスタートアップから選ばれる都市となるための環境整備、情報発信
- 地域内スタートアップ促進のためのファイナンス手法の開発と強化（ギャップファンド等）

2階層部分

「仙台らしさ」

- 挑戦を続ける新たな杜の都 “The Greenest City” SENDAI
- 次世代放射光施設によるリサーチコンプレックス形成促進
- スタートアップ・ユニバーシティ宣言に基づくスタートアップ創出と起業家人材育成加速
- 産学連携組織として有する創業・第二創業・产学連携へと繋がる豊富な研究・技術シーズ
- 東日本大震災の経験を背景にした社会貢献意識の高まり
- 課題先進地域と言われている東北の中心都市

1階層部分

スタートアップ・  
エコシステム  
推進基盤の  
確立

地域に存在する社  
会課題に対応したビ  
ジネスマルケット

アイデア・大学等の  
技術シーズ

イベントによる  
場作り

モノ



挑戦する人々

ヒト



多種多様なリスクマ  
ネーの供給

カネ



「スタートアップ」文  
化の醸成・ブランド  
づくりのためのmedia  
発信力強化

情報

黒字下線：欠落している要素

赤字下線：大きく欠落している要素

## ▶ 勉強会・意見交換会

特定のテーマを対象に、仙台の強みや特徴、他都市の先進的な取り組みの事例共有、課題抽出と意見交換の場として、全18テーマを対象に2020年11月から2021年3月まで勉強会・意見交換会を開催。

## ▶ 事務連絡会議（施策検討ワーキンググループ）

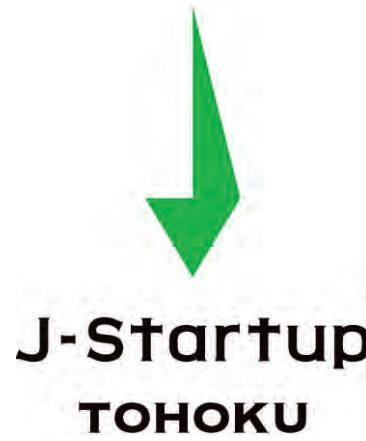
仙台スタートアップ戦略の策定に向け、拠点都市として目指すべき方向を明確化するための議論や、協議会会員が実施する支援施策の共有、エコシステム形成に向けた課題点の整理を目的に、事務連絡会議（施策検討ワーキンググループ）を全8回開催

### 【勉強会の実施テーマ】

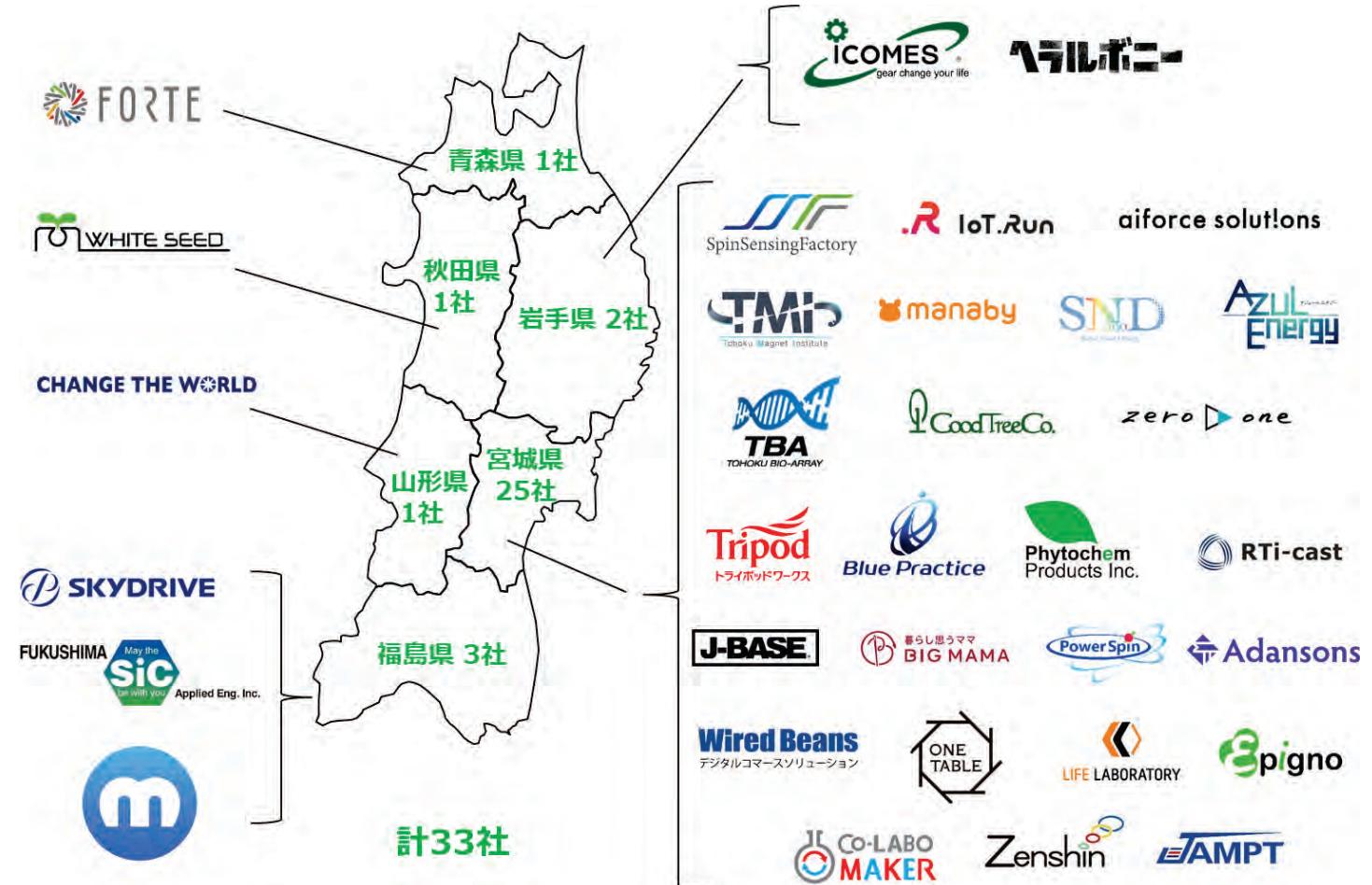
- ・内閣府 石井様：国のスタートアップ支援関連予算について
  - ・東北大学 柏原様：東北大学のスタートアップ支援の取り組みと課題
  - ・光科学イノベーションセンター 高田様：放射光を活用した地域振興、スタートアップへの期待
  - ・文部科学省 斎藤様：スタートアップ・エコシステム拠点都市でのアントレプレナーシップ教育
  - ・内閣府 和泉様：バイオ戦略、バイオ・コミュニティ施策について
  - ・東北大学 田雜様：東北大学のバイオ関連の取り組みについて
  - ・東北大学 今村様：東北大学の防災関連産業創出の取り組み
  - ・仙台市 荒木田様：仙台市の防災関連の取り組みについて
  - ・IMPACT Foundation Japan 竹川様：東北の社会起業家支援、リーシャル・イノベーションについて
  - ・ドーガン・ベータ 林様：福岡・九州のベンチャーエコシステム
  - ・福岡県 山岸様：福岡県におけるベンチャー支援政策について
  - ・STARTUP KINGDOM 石元様：岡山におけるスタートアップ支援の取り組み
  - ・仙台経済同友会 川嶋様：仙台経済同友会経営リーダーシップ・プログラムについて
  - ・京都市 筒井様：京都市1000年を紡ぐ企業認定制度について
  - ・東北大学 鹿野様：産学連携活動拠点としての東北大学IISセンターの活動について
  - ・仙台市 加藤様：SENDAI X-TECH INNOVATION PROJECTについて
  - ・東北大学 舘田様：ICTを活用した新規事業創出の可能性
  - ・Adansons 石井様：東北大学発AI・DeepTechベンチャーからの事例報告
- ※所属は登壇当時のもの



東北6県に所在する今後の飛躍的成長やグローバルな活躍が期待できる有力スタートアップ企業を  
東北地域の支援者ネットワークを通じて発掘・選定  
多様なノウハウ・ネットワーク・リソースを有する地域サポートアーズとともにスタートアップを集中支援



33社選定



## J-Startup TOHOKU Innovators Gathering & イブニングGathering

### ► J-Startup TOHOKU Innovators Gathering

2021年3月にピッチイベント「J-Startup TOHOKU Innovators Gathering」を開催。  
選定企業10社、地域サポートアーズ5社がピッチを行い会場内外（オンライン併用）の参加者とのマッチングを促進。参加者66名。

### ► J-Startup TOHOKUイブニングGathering

2021年6月より毎週ピッチイベント「J-Startup TOHOKUイブニングGathering」を開催。  
J-Startup TOHOKU選定企業とベンチャーキャピタル（VC）、事業会社等とのマッチングや連携の促進を図ると共に、地域サポートアーズとの相互理解を深める機会を創出。参加者延べ142名。



## エコシステム形成推進主体について J-Startup TOHOKU選定企業の活躍



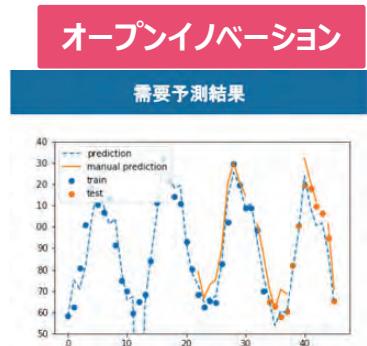
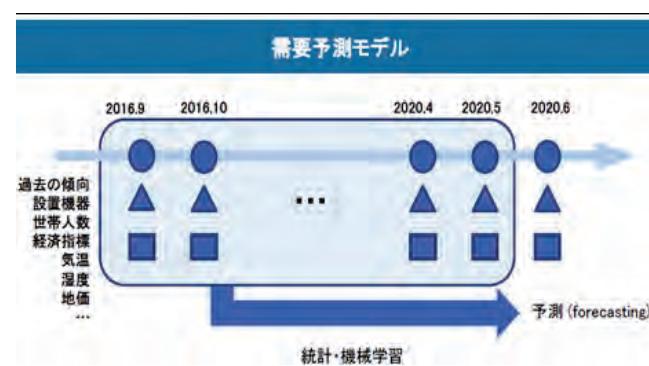
- ▶ 株式会社アイオーティドットラン  
・2021年1月 吉野家×Idein主催「牛丼テック」優勝



- ▶ 株式会社ジェイベース  
・2021年2月 東京プロマーケット (TPM) に新規株式公開 (IPO) ※東北企業では7年ぶり

### 資金調達

- ▶ 福島SiC応用技研株式会社  
・2020年9月 第三者割当増資による資金調達：調達額 31億円
- ▶ 株式会社ワイヤードビーンズ  
・2021年5月 第三者割当増資による資金調達：調達額1億6400万円



- ▶ 株式会社Adansons  
・2021年5月 伊藤忠エネクスホームライフ東北株式会社とのLP ガス需要予測の実証実験に成功。料金体系シミュレーター構築、運用を開始。



- ▶ 株式会社ワンテーブル  
・2020年9月 株式会社読売新聞東京本社と株式会社読売巨人軍の協力のもと、オリジナル防災備蓄ゼリー (LIFE STOCK) を開発し発売。  
・2020年10月 第三者割当増資による資金調達：調達額4億2,900万円

# エコシステム形成推進主体について 拠点都市指定による好循環



スタートアップ創出増  
資金調達増  
協業・実証実験増

ロールモデル企業の輩出  
スタートアップ企業誘致

スタートアップ・エコシステム  
の発展

スタートアップ発掘  
流入加速

他都市・団体と連携した  
イベント等実施機会増加

支援者ネットワークの強化

認知度の向上

情報発信強化  
ニーズ収集効率化  
支援者の増加

スタートアップ・  
エコシステム  
拠点都市選定

イベント・プログラム連携増加  
支援施策の見える化

支援者間の連携強化



構成メンバー数	
各団体の取り組みと役割 (施策見える化)	
12	▶ 45

